



◀大石田保育園の皆さん

たくさんの絵本を乗せておはなし隊が大石田を訪問

本とあそぼう 全国訪問おはなし隊が、6月9日(金)に虹のプラザを訪問しました。おはなし隊とは、講談社が実施している読書推進事業の1つで、550冊以上の絵本を乗せたキャラバンカーが日本全国の施設を巡り、読み聞かせや紙芝居などを通して、本を読む楽しさを伝えています。

この日は、ふたば横山保育園と大石田保育園の園児など15人が参加し、たくさんの絵本と触れ合いました。後半は、おはなし隊の牧野博美隊長による絵本の読み聞かせと紙芝居が行われ、園児たちは牧野隊長の感情豊かな読み聞かせに大興奮し、会場には元気な笑い声が飛び交っていました。

参加した高橋璃愛さん(ふたば横山)は、「たくさん本があって楽しかったです」と話していました。

ふたば横山保育園の皆さん▶



町の特産品の自然薯 児童が定植体験

町内小学校の6年生児童を対象とした自然薯の定植イベントが5月29日(月)に行われ、児童41人が自然薯の植え付けを体験しました。これは、子どもたちに自然薯の栽培をとおしてふるさとへの愛着を深めてもらおうと、大石田町新作物開発研究会(海藤明会長)の協力で、毎年実施されているものです。

児童たちは、はじめに海藤会長から、自然薯栽培のきっかけや苦労した点、定

植方法などの説明を聞きました。その後、研究会のメンバーに植え付け指導を受けながら、種芋の植え付けを行いました。

参加した菅野真南斗さん(北小)は、「大きく元気に育ってほしいです」と話していました。



爽やかな汗流し親睦深める 第45回町壮年ソフトボール大会

ソフトボールを通じて体力の増進を図るとともに互いの親睦を深めてもらおうと、第45回大石田町壮年ソフトボール大会が6月11日(日)に開催されました。

大会には4チーム55人の選手が参加し、下河原グラウンドを会場に熱戦が繰り広げられました。結果は下記のとおりです。

順位	チーム名
第1位	川前チーム
第2位	緑町・井出チーム
第3位	駒籠ハクサンズ、上ノ原チーム



プロのダンサーが児童に特別授業

—ューヨークを拠点にプロダンサーとして活躍している中澤利彦さんを招いた特別授業が、6月6日(火)に北小で、8日(木)に南小で行われました。これは、文化や芸術に触れることで子どもたちに豊かな想像力やコミュニケーション能力を養ってもらおうと、町が文化庁の文化芸術による子供育成推進事業を活用して実施したもので、昨年に続き2回目の開催です。

5・6年生にはダンス教室に加えて、キャリア教育として中澤さんが自身の経験を通して感じた「夢へ挑戦すること」の大事さが語られ、参加した児童は真剣な表情で聴き入っていました。

6月27日(火)、29日(木)には、大小で同様の特別授業が予定されています。



全国でも貴重なギフチョウ・ヒメギフチョウの混生地 両チョウの卵を児童が観察

町内小学校の4年生児童を対象としたギフチョウ観察会が5月18日(木)に川前地区で開催されました。これは、子どもたちにチョウの観察を通して、生命尊重や環境保全の精神を養ってもらおうと、町教育委員会などで構成する大石田町地域学校協働本部が企画したものです。

当日は児童41人が参加し、町立歴史民俗資料館の大谷俊継学芸員から指導を受け、ギフチョウの卵を観察しました。

参加した児童たちは、初めて見たギフチョウの卵に興味深そうに観察していました。



園児や児童が伝統的な田植えを体験

町内保育園の園児や小学校の5年生児童たちが手植えによる田植えを体験しました。

これは、伝統農法による米作りを通して、ふるさとの文化や自然に対して理解を深めてもらおうと行われているものです。

この内、大石田小学校では5月27日(土)に5年生の学年行事として、間宮良一さん(佐田町)に協力いただき、手植えによる田植えを体験しました。児童たちは初めて入る田んぼの感触にはしゃぎながら、泥だらけになって苗を植え付けていました。

各小学校では、秋に稲刈りを行い、収穫した米を味わうことにしています。